

# 理研会報

行 部 局 8 内  
研 究 科 9 学 4 校  
理 科 研 究 市 幸 町 小  
教 務 市 幸 町 小  
印 事 成 成

## 理科研究九部

### 昭和六十一年度をふりかえって

副 部 長 佐倉東小学校 石井 望至

昭和六十一年度も、残り少なくなつてまいりました。

会員の皆様方には、年度末のお忙しい日々をお過ごしのことと思ひます。

さて、六十一年度も、皆様方の協力により、無事終了できますことに對し、厚くお礼申し上げます。

本年度は、会員数三百五十六名（低学年分科会八十八名、高学年分科会百三十五名、中学校分科会百三十三名）でスタート致しました。

活動としては、

一、教育研究活動の推進

二、理科作品展の充実

三、印教連指定理科研究学校（成田市立向台小学校）への協力

四、『理研会報』の発行

の四項目を柱として、活動してまいりました。

◎教育研究活動の推進について

（詳細は、理研会報百六十二号・百六十七号に掲載）

第三十六次教育研究集会も盛会

裡に終わり、各部会の研究体制の充実が見られました。

各部会とも、三年継続研究（二年目）——研究主題の検討、二年目実践研究、三年目——研究のまとめ）と、研究員によるグループ研究が定着したようです。

◎理科作品展について

（詳細は、理研会報百六十五号に掲載）

十月一日よりの三日間、印西町立印西中学校を会場に開催いたしました。出品点数二百九十九点の各部会で選ばれた力作が集まり、その中から、三十二点が県の作品展に出品され、発明協会長奨励賞他八点が入賞し、大きな成果を上げることができました。

◎印教連指定研究学校への協力

（詳細は、理研会報百六十九号に掲載）

成田市立向台小学校が、『子ども一人ひとりが進んで活動する、楽しい理科学習を主題に、十一月十九日（水）に、二年間のすばらしい研究を公開発表し、多数の会

員の参加をいただきました。

◎理研会報の発行について

本年度は、十二号を発行し、年々、内容も充実してまいりました。原稿集め、印刷、編集の苦労は大変なことと思います。ここに感謝申し上げます。

## 各部会の事業報告

### 一、部会行事

(1) 理科主任会議

六月十一日 印南小

(2) 理科実技研修会

八月 六日 上志津小

(3) 小中理科作品展

九月二十四日 南志津小

二、教研へのとりくみ

(1) 研究主題

▼小学校『子どもの豊かな発想を育てる理科学習は、どのようしたらよいか。』

▼中学校『生徒の疑問を大切に『生物指導』

(2) 研究の経過

今年度は、二年目のとりくみであり、理論と実践の積み重ねを重点にして、共同授業研究会も実施した

研究員は、小中合わせると三十名を数え、年間十九回の研修会を重ね、協議してきた。郡の教研発表会の成果と課題をもとに、更に継続して研究していききたい。

### 四月二十五日

・部会理科研究部総会

六月 三日

・中学校理科実技研修会

七月三十日・三十一日

・小学校理科指導者研修会

（遠山小学校）

八月十一日

・理科野外研修会（養老溪谷）

九月十八日・二十日

・理科作品展と理科発表会

（富里中央公民館）

※六月二十日より中学校部会と小学校部会に分かれて研究員集会を合計二十六回実施する。

◎作品展について

昨年の反省をふまえ、出品点数を制限したので展示等もよくできた。また、作品内容も優れたものが多く、郡展及び県展において二部会の作品が優秀な成績を修めた。

◎野外研修においては研修時間を十分に確保して、さらに充実したものにした。

◎教研に向けての取り組みは、グループ研修が二年目に入りスムーズに進められた。今後は、さらに底辺のひろがりを持てるようにしたい。

### 四月二十三日

・部会研究部総会（大森小）

六月 三日

・中学校実技研修会（豊住中）

（はねばかり、簡易発電機の製作）

六月十三日・研究員集会（白井中）

### 六月二十四日

・小学校実技研修会

（白井一小）

（ゴムを使って、電磁石等）

七月 一日・研究員集会（白井中）

八月十一日

・野外研修会（養老溪谷）

地層と野鳥の観察 等

九月十二日

・理科作品展（印西中）

作品総数 二百五十四点

九月二十六日

・研究員集会（白井中）

四月三十日

・研究部総会（中央中）

五月二十三日

・研究部研修会（八街中）

本年度の研究テーマについて

六月 三日

・研究部会議（八街中）

組織づくり、研究計画の立案

六月十一日

・学習会（八街中）

個別指導について

七月 一日

・理科主任会議（八街中）

七月二十九日

・実技研修会（八街中）

（アクリル板加工及び『空気をつぶす』に関する教材開発）

九月二十四日

・研究部会議（八街中）

教研集会について

九月二十五日

・理科作品展（中央中）

出品総数 百四十七点

### 『充実した研修』と願い実施してきた本年度の事業について概要を記します。

五月二十四日・研究推進検討会

六月十一日・理科学習指導上の諸問題について検討

七月 八日・小中部会の研究推進状況の検討

八月十九日・実技研修会

自作TP、教育機器の活用

九月 六日・授業研究（中）

九月十九日・理科作品展

九月二十六日

・指導案検討、資料検討

十月 二日・授業研究（小）

十月 七日・授業研究（小）

十一月二十一日

・県教研、印教研の反省

・今後の研修内容の検討

二月十三日

・天体観察研修会

以上、概要について記したが、小学校部会、中学校部会において、更に自主研修会を実施しています。

今後充実した研修をめざしていきたいと思います。

◎編集後記◎

本年度も本号をもって『理研会報』は終わります。

忙しい中、原稿をよせてくださった先生方ありがとうございました。お礼申し上げます。